

応募に必要な書類提出にあたって留意事項（薬学部）

- ① **履歴書**（本学所定の様式により別添の記入例を参考にして、印字で作成）
- (1) 年齢は満年齢で記入すること。
 - (2) 本籍地は日本国籍の者は都道府県名を、外国籍の者は国名を記入すること。
 - (3) 博士課程を出て未だ博士号を取得していない者の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入すること。
 - (4) 大学の別科，専攻科については「学歴・学位・資格」欄に，また研究生，副手，聴講生等は「職歴」欄に記入すること。
 - (5) 学位，称号の他，医師，歯科医師，薬剤師，看護師，教員等の資格についても「学歴・学位・資格」欄に記入すること。この場合，登録番号も付記すること。
 - (6) 外国での資格は正確に記入すること。また，原語も併記すること。
 - (7) 外国留学については，学生として留学の場合は「学歴・学位・資格」欄に，また研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入すること。
 - (8) 職歴は，すべての職歴について，いつからいつまでの職歴かが明確になるように年次順に記入すること。なお，現職については必ず“現在に至る”と明記すること。
 - (9) 担当科目に直接関係のある職歴については，できるだけ具体的に記入すること。
(実務経験があるものは実務の内容など)
 - (10) 自営業，主婦，無職等についても省略しないで「職歴」欄に記入すること。
 - (11) 大学の教員の職歴については，主な担当科目を（ ）で付記すること。
 - (12) 所属学会名は「学会及び社会における活動」欄に正確に記載すること。
 - (13) 外国籍の場合は，母国語で記入して差し支えないが，その場合は訳文を添付すること。
- ② **教育研究業績書**（本学所定の様式により別添の記入例を参考にして、印字で作成）
- (1) 著書、学術論文（原著、総説等）、その他（特別講演及びシンポジウム、並びに国際学会発表等）、また教育活動、科学研究費の実績等に区分し、それぞれ年代順に記載すること。なお、区分毎に一連番号を付し、主要論文10編以内について赤○印を付ける。
 - (2) 共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときは，その理由を明記すること。

(例 共同研究につき本人担当部分抽出不可能等)
 - (3) 投稿中の論文で、掲載証明のないものは除く。
 - (4) 学位論文については，その旨明確になるよう記入すること。
 - (5) 「概要」欄は，具体的に要領よく記入すること。
 - (6) 発表学会等は，その学会の名称の他，開催地、開催年月、発表者（実際の発表者

○) を記入すること。

(7) 主要論文10編以内の別冊（コピー可）とそのリスト1部（区分及び番号に対比させ、「例；論文－2」等を付記する。そしてどのように関与したかを記載し提出）。

③ 希望職種と着任後の抱負（2000字程度）

希望職種における着任後の抱負を、教育・研究・学内貢献・社会貢献に分けて、経験を踏まえて記入すること。

④ その他の参考資料

・科学研究費補助等外部資金の獲得状況、特許の取得状況、指導論文目録等（科学研究補助金等については、研究代表者または分担者の区分を明記）。その他、教育活動、実務経験、社会貢献等で特記すべき事項があれば記入する。